



「デルタ航空ビジネスクラス『Delta One』で行くハワイ7日間の旅」、なーんて、旅行パンフレットのようなタイトルにしてみました、ハワイ滞在記は私のHPをググっていただくとして、セントレアから利用したハワイ・ホノルル便について紹介します。

今回のハワイ旅行は、わが家の結婚25周年、「銀婚式（シルバー・ウェディング・アニバーサリー）」の記念旅行だったので、あーちゃんが4月から鹿児島大学へ行き、ひとり暮らしを始めた直後で金銭面での不安から、私はあまり気乗りしませんでした。そこで家内が、「私のへそくりでビジネス乗せてあげるからハワイに行こうよ」と言ってきたのです。家内のへそくり、つまりパートで貯めたお金ならいいかと思い、3年ぶり1*回目となるハワイ行き決定。

ビジネスクラスに乗るのは初めてではないのですが、今までは幸運なUPGや座席のみの利用だったので、自腹で往復ともフルサービスを受けるのは今回が初。現在セントレアからハワイ・ホノルルに直行便を就航しているのは「JAL」と「デルタ航空」の2社で、どちらも航空券はひとり往復20万円＋燃油サーチャージ＋空港税の計約22万円と同額。座席もどちらもフルフラットシートでしたが、スポンサーである家内はデルタ航空を希望。理由は帰国便のホノルル出発時間がJALより4時間以上遅く、最終日もゆっくり滞在できることでした。

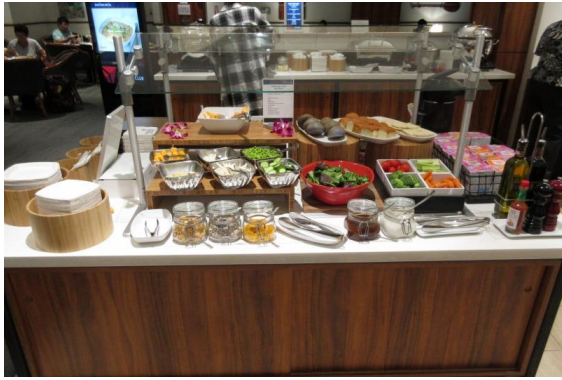
デルタ航空の中部・ホノルル便のビジネスクラス「Delta One」は窓側1列＋中央2列＋窓側1列の4列アブレストで、フルフラットにした際に足が伸ばせるように、前後の座席



前方足元にはリクライニング時に足を伸ばすスペース



前後互い違いに配置された「Delta One」のフルフラットシート



専用ラウンジ「DELTA SKY CLUB」で、アルコールや軽食類をつまみながら搭乗開始時間を待つのもビジネス利用の特権。

が互い違いに配置されているのが特徴。私は往路便ではホノルル空港へのアプローチ、帰国便では離陸直後のワイキキを見るため、往復とも左側の窓側座席「1A」をゲット。優先搭乗で機内に入ると、すぐにウエルカムドリンクのカクテルが出され、離陸後シートをリクライニングさせると、足をまっすぐに伸ばすことができる快適さを実感。食事は和食と3種類の洋食から



帰国便の夕食に選んだ「クラブケーキのウニソースとロブスター・テルミドール」。機内食とは思えないおいしい料理でした。

選ぶことができ、往路便では「牛肉の煮込み、サーモンマリネと豚肉のコンフィ」、帰国便は「クラブケーキのウニソースとロブスター・テルミドール、牛たたき、スモークサーモン添え」を選びました。リフレッシュメントは往路便では「季節のフルーツとパンの盛り合わせ」、帰国便では到着1時間前の「牛丼」のほかにも、途中で「卵とターキーベーコンのクロワッサン」

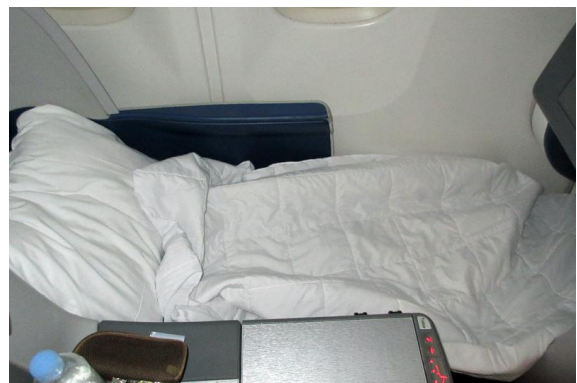
が出るなど、お腹が空く暇もありません。毎回、陶器の食器に金属製のナイフとフォークが用意され、まさに「空飛ぶレストラン」でした。

今回わが家が渡ハしたのは、昨年9月13日から19日までの7日間。このときのエコノミークラス正規引運賃は9万円とやや高い時期だったので、エコノミーの2倍で乗れるならビジネスに乗りうと思えましたが、差額がもっと大きい時期だったら、二の足を踏んでいたかもしれません。

しかし、専用ラウンジに優先搭乗、フルフラットシートに豪華な食事など、「もうエコノミーには乗れない」と思わせるサービスの数々でした。とはいえ、わが家の財政で毎回ビジネスを利用することはできませんので、次回は私の退職記念旅行で快適な空の旅を楽しみたいと思っています。



おかげでぐっすり眠ることができました



ボタンを操作しフルフラットにするとベッドに早変わり